



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 ノーリツ鋼機株式会社

上場取引所 東

コード番号 7744 URL <http://www.noritsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 西本 博嗣

問合せ先責任者 (役職名) IR・PR・ER室長 (氏名) 谷口 博則

TEL 073-406-5678

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	40,471	137.6	2,307	562.8	2,194	473.6	899	59.0
25年3月期第3四半期	17,030	20.7	348	△42.7	382	—	565	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,236百万円 (586.8%) 25年3月期第3四半期 325百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	25.26	—
25年3月期第3四半期	15.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	92,233	60,273	63.6
25年3月期	80,849	56,896	70.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 58,703百万円 25年3月期 56,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	100.9	2,750	346.3	2,100	120.4	1,100	163.7	30.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社 秋田ケーブルテレビ 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	36,190,872 株	25年3月期	36,190,872 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	576,847 株	25年3月期	576,847 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	35,614,025 株	25年3月期3Q	35,614,066 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については、添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績結果においては、前連結会計年度よりいきいき株式会社及び株式会社全国通販によるシニア向けの出版・通信販売等の事業が加わったこと、並びに第1四半期連結会計期間より株式会社日本医療データセンター、フィード株式会社及び株式会社アイメディックによる医療事業が加わったことから、前年同期と比較し大幅な増収、増益となりました。その結果、売上高は404億71百万円（前年同期比137.6%増）、営業利益は23億7百万円（前年同期比562.8%増）、経常利益は21億94百万円（前年同期比473.6%増）、四半期純利益は8億99百万円（前年同期比59.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、各セグメント別の売上高は外部顧客への売上高を記載しており、またセグメント損益(営業損益)は各セグメント間取引の調整額を加算したものであります。

① イメージング

写真処理機器においては、北米でのサービスの販売拡大、為替環境の好転により、売上高は110億81百万円と前年同期と比べ17億39百万円（18.6%増）の増収となりました。

セグメント利益（営業利益）は、為替による増収効果もあり、3億56百万円（前年同期は営業損失52百万円）と前年同期と比べ4億9百万円の増益となりました。

② 環境

環境ソリューションブランド「Re:ray（リレー）」を新機軸にLEDライティングなどの販売活動に注力しましたが、全体の販売数量は前年同期を下回り、売上高は15億82百万円と前年同期と比べ2億91百万円（15.5%減）の減収となりました。

セグメント損失（営業損失）は、前年同期と比べ収益構造を改善し、26百万円（前年同期は営業損失1億28百万円）となりました。

③ 食

前連結会計年度より業務用厨房機器業界へ参入し、販売を開始した水循環式電気フライヤー等の売上が好調に推移した結果、売上高は3億55百万円と前年同期と比べ2億76百万円（347.6%増）の増収となりました。

しかしながら、セグメント損失（営業損失）は、販売体制強化のための人員の補強などにより販管費が増加し、62百万円（前年同期は営業損失34百万円）と前年同期と比べ28百万円の減益となりました。

④ 医療

平成25年5月にレセプトデータの分析・調査データの提供を手掛ける株式会社日本医療データセンター、歯科及びその他医療機関に対する歯科材料・医療材料の通信販売を行うフィード株式会社、整形外科領域におけるインプラント器具の製造・販売を行う株式会社アイメディックなどが当社グループに加わったことにより事業領域が拡大しました。その結果、売上高は83億15百万円と前年同期と比べ68億97百万円（486.8%増）の増収となりました。

上述の事業領域の拡大に伴い、セグメント利益（営業利益）は6億28百万円（前年同期は営業利益39百万円）と前年同期と比べ5億88百万円の増益となりました。

⑤ シニア・ライフ

平成24年9月にシニア向け出版・通信販売等を手掛けるいきいき株式会社、また平成24年12月に株式会社全国通販が当社グループに加わったことにより事業領域が拡大しました。その結果、売上高は187億97百万円と前年同期と比べ148億24百万円（373.2%増）の増収となりました。

上述の事業領域の拡大に伴い、セグメント利益（営業利益）は11億80百万円（前年同期は営業利益3億46百万円）と前年同期と比べ8億33百万円の増益となりました。

⑥ その他

その他の事業におきましては、売上高が3億38百万円、セグメント利益（営業利益）が2億21百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は922億33百万円となり、主に子会社取得により前連結会計年度末と比較して113億83百万円増加しました。

流動資産は、65億24百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が44億22百万円、受取手形及び売掛金が21億94百万円、たな卸資産が16億78百万円増加し、償還等により有価証券が25億45百万円減少したことによるものです。

固定資産は、48億59百万円の増加となりました。これは有形固定資産が19億26百万円、のれんの計上額が13億83百万円増加したことによるものです。

負債は、80億6百万円の増加となりました。これは長期借入金が28億24百万円、短期借入金が15億円、支払手形及び買掛金が14億45百万円増加したことによるものです。

純資産は、33億77百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益8億99百万円の計上と配当実施の結果、利益剰余金が6億14百万円増加したこと、為替換算調整勘定が9億36百万円増加したこと及び少数株主持分が15億49百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月17日公表の「平成25年3月期決算短信」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期会計期間より、株式会社秋田ケーブルテレビを連結の範囲に含めております。

なお、当該異動は、株式取得に伴って子会社となった会社の資本金の額が当社の資本金の額100分の10以上に相当するため、特定子会社に該当いたします。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,575	22,998
受取手形及び売掛金	4,942	7,136
有価証券	8,190	5,644
商品及び製品	6,521	8,115
仕掛品	304	356
原材料及び貯蔵品	193	225
繰延税金資産	538	680
その他	4,177	5,000
貸倒引当金	△1,631	△1,822
流動資産合計	41,811	48,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,004	32,755
機械装置及び運搬具	7,352	9,694
土地	12,168	12,222
建設仮勘定	12	9
その他	13,275	13,658
減価償却累計額	△41,660	△46,261
有形固定資産合計	20,152	22,079
無形固定資産		
のれん	12,433	13,817
その他	526	930
無形固定資産合計	12,960	14,748
投資その他の資産		
投資有価証券	3,110	3,486
長期貸付金	528	1,453
繰延税金資産	613	670
その他	2,269	2,864
貸倒引当金	△596	△1,404
投資その他の資産合計	5,924	7,069
固定資産合計	39,037	43,897
資産合計	80,849	92,233

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,149	4,595
短期借入金	500	2,000
1年内返済予定の長期借入金	1,006	1,546
未払法人税等	393	632
繰延税金負債	0	0
賞与引当金	303	212
債務保証損失引当金	41	12
製品保証引当金	247	359
ポイント引当金	252	238
その他	4,357	5,188
流動負債合計	10,253	14,786
固定負債		
長期借入金	12,933	15,758
繰延税金負債	166	331
退職給付引当金	32	119
その他	567	963
固定負債合計	13,700	17,173
負債合計	23,953	31,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,025	7,025
資本剰余金	17,913	17,913
利益剰余金	37,499	38,113
自己株式	△1,211	△1,211
株主資本合計	61,226	61,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	264
為替換算調整勘定	△4,339	△3,402
その他の包括利益累計額合計	△4,342	△3,138
新株予約権	10	19
少数株主持分	1	1,550
純資産合計	56,896	60,273
負債純資産合計	80,849	92,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	17,030	40,471
売上原価	8,500	19,348
売上総利益	8,530	21,122
販売費及び一般管理費	8,182	18,814
営業利益	348	2,307
営業外収益		
受取利息	263	253
受取配当金	36	34
為替差益	—	61
その他	146	168
営業外収益合計	446	519
営業外費用		
支払利息	90	206
為替差損	38	—
持分法による投資損失	214	175
付加価値税還付不能額	—	83
その他	68	168
営業外費用合計	412	632
経常利益	382	2,194
特別利益		
固定資産売却益	29	4
投資有価証券売却益	117	—
負ののれん発生益	—	693
特別利益合計	147	697
特別損失		
固定資産除売却損	9	32
貸倒引当金繰入額	—	333
投資有価証券売却損	—	46
投資有価証券評価損	—	2
製品保証費用	—	110
構造改革費用	—	248
特別損失合計	9	772
税金等調整前四半期純利益	520	2,120
法人税等	△45	1,087
少数株主損益調整前四半期純利益	565	1,032
少数株主利益	0	133
四半期純利益	565	899

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	565	1,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△205	266
為替換算調整勘定	△52	930
持分法適用会社に対する持分相当額	17	6
その他の包括利益合計	△240	1,203
四半期包括利益	325	2,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325	2,103
少数株主に係る四半期包括利益	0	133

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	イメー ジング	環境	食	医療	シニア ・ライフ	その他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	9,342	1,873	79	1,417	3,972	345	17,030	—	17,030
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	—	—	0	0	△0	—
計	9,342	1,873	79	1,417	3,972	345	17,030	△0	17,030
セグメント利益又は損失(△)	△52	△128	△34	39	346	174	345	2	348

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円には、セグメント間取引消去2百万円が含まれております。

2 当社はセグメント利益を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は2,392百万円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	イメー ジング	環境	食	医療	シニア ・ライフ	その他	計
全社費用配賦前の セグメント利益	1,775	49	9	125	498	279	2,737
全社費用	1,827	177	44	85	151	105	2,392
セグメント利益又は損失(△)	△52	△128	△34	39	346	174	345

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	イメ ジング	環境	食	医療	シニア ・ ライフ	その他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	11,081	1,582	355	8,315	18,797	338	40,471	—	40,471
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	11,081	1,582	355	8,315	18,797	338	40,471	—	40,471
セグメント利益又は損失(△)	356	△26	△62	628	1,180	221	2,297	10	2,307

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額10百万円には、セグメント間取引消去10百万円が含まれております。
 2 当社はセグメント利益を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は2,338百万円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	イメ ジング	環境	食	医療	シニア ・ ライフ	その他	計
全社費用配賦前の セグメント利益	1,890	81	40	809	1,558	254	4,636
全社費用	1,534	107	103	181	378	32	2,338
セグメント利益又は損失(△)	356	△26	△62	628	1,180	221	2,297

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、株式会社日本医療データセンター、フィード株式会社、株式会社アイメディック及び株式会社秋田ケーブルテレビの株式を取得し、連結の範囲に含めております。

これに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、「医療」のセグメント資産が66億37百万円、「シニア・ライフ」のセグメント資産が43億65百万円増加しております。